



利用上の留意事項

- エンジン熱による枯れ防止のため、駐車したら直ちにエンジンを停止して下さい。(アイドリングストップ)
- エンジンオイルやラジエーター液などの液漏れトラブルのある車両は駐車しないで下さい。
- 2tを超える車を乗り入れする時は、厚さ12mm程度のコンパネを2枚重ねるなどして、充分養生をしてから乗り入れて下さい。
- 自転車・自動二輪車で乗り入れする時は、自転車等から降りて歩行路を通行して下さい。(自転車等での走行の禁止)
- タイヤチェーン装着車両での乗り入れは止めて下さい。
- 本体パネルは可燃物のため、火気類を近くで使用しないで下さい。
- 日によって利用制限を設けることで、植物をより健全に生育させることが可能になります。

メンテナンス上の留意事項

植物をより良い状態で維持するために必要な作業を下記に表しました。お手入れの参考にして下さい。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備 考
気象条件	少雨期 ←→ 梅雨期 ←→ 高温・少雨期 ←→ 秋雨期 ←→ 低温・少雨期 ←→ 多雨期												
■ 灌水作業	←→		←→		←→		←→		←→		←→		乾燥状態により実施
■ メンテナンス作業													
地被類 (タマリユウなど)													
【刈込み】	←→												生育状況により適宜 (年1回程度) 実施 (不要な場合もあり)
【追肥】	←→												年1回程度実施
【除草】	←→		←→		←→		←→		←→				発生状況により適宜 (年2~4回程度) 実施
【土壌硬化対策】	←→												硬化状況により適宜実施
芝生類													
【刈込み】	←→		←→		←→		←→		←→				生育状況により適宜 (年1~3回程度) 実施 (不要な場合もあり)
【追肥】	←→												年1回程度実施
【除草】	←→		←→		←→		←→		←→				発生状況により適宜 (年2~4回程度) 実施
【土壌硬化対策】	←→												硬化状況により適宜実施

- エンジン熱による多少の葉枯れは、灌水を続けることにより回復します。
- 特に、完成引き渡し直後は、乾燥しがちになりますのでご注意下さい。
- 病害虫の予防や発生した場合の対処法につきましては、専門家にご相談下さい。

灌水管理について

植物が活着するまでは十分な水遣りを行ってください。

活着した後も、気温が上昇する5月~9月の間は特に乾燥に注意してください。晴天日が続くと植物が枯れることがあります。

晴天が続いた場合には、緑化面にたっぷりと灌水します。1m2あたり5リットル以上の灌水量を目安にして下さい。

なお、冬季(12月~3月)の灌水は基本的に必要ありません。